News Release

発信元：ピー・シー・エー株式会社
〒102-8171 千代田区富士見 1-2-21
TEL：03-5211-2700

働く、が変わるとき。
PCA

2026 年 11 月 13 日
ピー・シー・エー株式会社

【開催レポート】PCAスクールデイ 2026～秋～
～使えるAIを現場で考える、学び合いの一日～

AI技術を活用し、ワンストップで財務経理・人事労務・販売管理をサポートする、クラウド型基幹業務システム『PCA Arch』を開発・販売するピー・シー・エー株式会社（代表取締役社長執行役員 CEO：玉井史郎 本社：東京都千代田区 プライム銘柄コード9629 以下：PCA）は、ユーザーコミュニティ交流イベント第5弾「PCAスクールデイ 2026～秋～」を、10月23日（金）に開催しました。



本イベントは、前回に続き旧杉並区立杉並第四小学校をリノベーションした施設「IMAGINUS（イマジナス）」にて、“同じ教室で学ぶクラスメイト”のように、会社の垣根を越えて交流し、学び合える一日をお届けしたい――そんな想いで開催しました。

■1 時間目 そこまでできるの！？最新生成 AI 活用法 2026

コプラス株式会社 代表取締役 中里吉利 様より、非エンジニアでも取り入れやすい生成AIの活用法についてお話しいただきました。

AIは大量の資料の読み込みや情報の整理を得意とする一方、事実の確認や最終的な判断は人が担う必要があるとまとめられました。そのうえで、「材料を渡す」「型を渡す」「最後は人が確かめる」という任せ方の3原則が紹介されました。

実演では、解説動画からお知らせメールを作る例、決算書から報告資料を作る例、求人票から採用ページを作る例を披露いただきました。いずれも指示文を作り込んで再利用し、数字の照合や公開の判断は人が行うことがポイントとされました。また、会社で安心してAIを使うための法人向けサービスとして、データをAWSの日本リージョンで管理し、1つの契約で複数のAIを利用できる「UPGEAR AI」が紹介されました。

発信元：ピー・シー・エー株式会社
〒102-8171 千代田区富士見 1-2-21
TEL：03-5211-2700

まとめとして、「毎回ゼロから作っているものを1つ選ぶ」「指示文を作り込んで保存する」「AIが出した数字は元資料と照合する」の3つを、明日から試すことが勧められました。



■2時間目　PCAユーザー様の事例紹介

①給与業務電子化の成功プロセスについて

株式会社スリーエスコンサルティングの鷺野元則様より、アウトソーサーとして多くの企業を支援してきた現場の実体験をもとに、DXが進む会社と進まない会社の違いを解説いただきました。

給与業務は、給与明細の印刷や封入、配布といった手作業が多く、年末調整では紙の回収や記入漏れによる差し戻しなどで多くの時間が割かれています。当初は無料のWEBシステムを導入したものの、給与ソフトと連携するための中間作業が増え、人件費がかさんでしまったという事例も紹介されました。

DXを阻む要因としてツールの選定以前に、従業員のデジタルリテラシーや組織の慣習などが挙げられました。なかでも最大の課題は定着であり、マニュアルが読まれず、設定の途中で止まってしまうケースが少なくないとのことです。DXを成功している企業には、目的が明確であること、経営者が理解していること、スモールスタートで進めていること、初年度から完璧を求めないことという共通点があるとまとめられました。



発信元：ピー・シー・エー株式会社
〒102-8171 千代田区富士見 1-2-21
TEL：03-5211-2700

②AIを経営に直結させる ～株式会社米沢牛黄木様の場合～

株式会社ブルーパシフィックソフトウェアの阪野様より、ユーザー事例として米沢牛黄木様の取り組みをご紹介いただきました。

米沢牛黄木様は、会計や販売、受注などのデータはシステムごとに分かれて使っていたため、経営の数字を知るには各所から集めて手作業で突き合わせる必要があったそうです。

そこで、各システムのデータを毎日自動で「BigQuery」に集め、ClaudeとBI画面から経営の数字を問い合わせられる仕組みを構築されました。計算は「BigQuery」が担い、AIは質問の意図をくみ取って見るべき切り口を提案する役割に分けたことがポイントとされました。

実際の活用例として、経営管理部が月次の誤計上チェックに使ったところ、指摘件数が17件から6件に減ったという結果が紹介されました。また、AIに合計させた際に会計と合わなかった経験から、検証済みの集計のみを使うことや、締めた月は試算表と必ず一致させることを徹底されたそうです。

まとめとして、AIを経営に直結させるために、「計算とAIを分けること」「会計との一致を確認すること」「権限をサーバー側で管理すること」の3点が挙げられました。



■3時間目　みんなで話そう！AIの業務活用

同じ担当業務ごとでグループに分かれていただき、日常業務でのAI活用や、AIで解決したい悩みについて意見交換を行いました。各グループにはPCAのプロダクト開発・マーケティング担当も加わり、機能への評価や要望を直接伝えていただく場ともなりました。

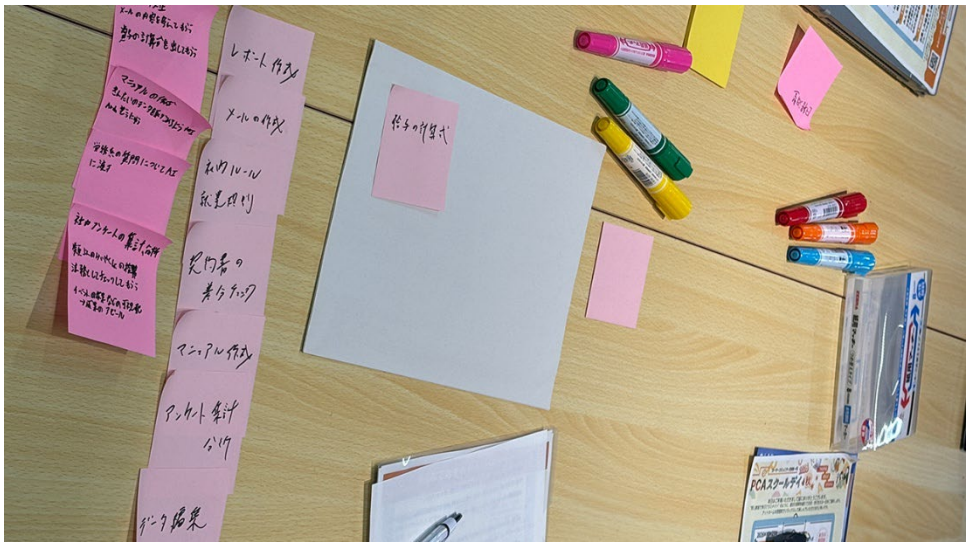
現場では、資料や議事録の作成、アンケートの集計などでAIを活用する動きが進んでいました。一方で、複数システムをまたぐデータ連携の手作業や、外部AIへ情報を持ち出すことへの不安が挙がりました。

また、AIに求めるものは作業の代行だけでなく、入力ミスや異常値のチェックといった確認の支援という意見が多くみられました。AIに任せる範囲と人が確認する範囲を決めて運用を設計することが、AI活用の鍵になるという意見もありました。

『PCA Arch』のAIエージェントでは、データを外部に持ち出さずにシステム内で完結できる点やクラウドストレージサービス『eDOC for PCA Arch』に保存された社内ルール

発信元：ピー・シー・エー株式会社
〒102-8171 千代田区富士見 1-2-21
TEL：03-5211-2700

やコンテンツを参照し回答できる点が評価されました。また、定型業務や期限のある作業の漏れを防ぐ「タスク管理機能」への期待が寄せられました。



■お楽しみ給食タイム

各授業の後は、懇親会の時間となりました。前回に続き、揚げパンやミルメークなど懐かしい給食メニューを用意しました。会場には昔を思い出す声が広がり、参加者同士が話すきっかけにもなりました。

PCAの開発担当やマーケティング担当も加わり、同じテーブルを囲んでお話を伺いました。グループワークで出た意見の背景や、普段の業務で感じている課題などについて、率直なご意見を多くいただきました。

また、お客様同士の会話では、同じ業務を担当する方々の間で情報交換が活発に行われ、「こういうAIの使い方もあるんですね」「その進め方は明日から試せそうです」と、実践につながる話題が多く見られました。



News Release

発信元：ピー・シー・エー株式会社
〒102-8171 千代田区富士見 1-2-21
TEL：03-5211-2700

■総括

「PCAスクールデイ 2026 ～秋～」は、AI活用のセミナーやユーザー様のDX事例を通じて、業務にすぐ生かせるヒントをお届けする一日となりました。笑顔と活発な意見交換に包まれ、無事に終了することができました。

終了後のアンケートでは、多くの方から「明日から使える情報が多かった」「内容は濃いのに、フランクな雰囲気で話しやすかった」といったお声をいただきました。また、AI活用やDX事例の具体的な事例を実際にお伝えできたことで、「自社でも取り入れてみたい」「可能性を知ることができた」という声が多く寄せられました。セミナーを聞くだけでなく、他社の方と直接意見を交わせたことも、参加者の皆様にとって貴重な時間になったようです。

今後もユーザー様同士の交流や、AI活用・業務効率化の情報共有の場を継続して開催してまいります。開催が決まり次第ご案内しますので、ぜひご参加ください。
ご参加いただいたユーザーの皆様、ありがとうございました。

■関連サイト

『PCA Arch』製品サイト
https://pca.jp/arch/index.html

ピー・シー・エー株式会社　概要
社名：ピー・シー・エー株式会社
設立：1980年8月1日
所在地：東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル
代表者：玉井史郎
URL：https://pca.jp/

本リリースに関するお問い合わせ先
ピー・シー・エー株式会社　事業戦略部　広報担当　澤井
TEL：03-5211-2700　E-mail：pr@pca.co.jp

記載された製品名および会社名は弊社の商標または登録商標です。
ニュースリリースに掲載されている内容は発表時点の情報です。その後、予告せず変更となる場合がございます。
Copyright©2026 PCA Corporation, All rights reserved.